

◎各項目の取組内容(小瀬川水系大規模氾濫時の減災対策協議会)

具体的な取組の柱		実施する機関												
事項	具体的取組	目標時期	市町村			県			気象庁		国土交通省 中国地方整備局			
			大竹市	岩国市	和木町	広島県	山口県 河川課	山口県 防災危機管理課	広島地方気象台	下関地方気象台	太田川 河川事務所	広島国道 事務所	山口河川 国道事務所	弥栄ダム
①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組														
■洪水を安全に流すためのハード対策の促進														
	・堤防整備、高潮対策 (浸透対策、パイピング対策、流下能力対策)	L	順次実施											・堤防整備、高潮対策（浸透対策、パイピング対策、流下能力対策）
■避難行動・水防活動に資する基盤等の整備														
	・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する <b>危機管理型水位計</b> の整備	C, G, H	H30年度											・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する <b>危機管理型水位計</b> の整備(H30年度)
	・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する <b>河川監視用カメラ</b> 等の整備	C, G, H	順次実施											・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する <b>河川監視用カメラ</b> 等の整備(順次実施)
	・河川のリアルタイム映像の提供設備の検討	C, G, H	H30年度											・河川映像の提供設備検討(H30年度)
■想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等														
	・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく避難計画の見直し	C, D	H28年度から 検討実施											・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づき、避難計画の見直し(広域的な避難計画)(H28年度から検討実施)
	・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知	A, D	H28年度から 検討実施											・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づき、ハザードマップを作成するとともに住民への周知(H28年度から検討実施)
	・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく避難勧告等の発令基準の見直し	C	H28年度から 検討実施											・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づき、必要があれば避難勧告基準の見直しを実施
■多様な防災行動を含むタイムラインの作成														
	・河川管理者、沿川自治体、住民、交通サービス 道路管理者等と連携したタイムラインの策定に着手	B, F, G	H28年度から 検討実施											・河川管理者、沿川自治体、住民、交通 サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの作成に着手(平成28年度)
	・リアリティのある水防訓練の実施	B, C, F, G, H, I, J	H28年度から 検討実施											・避難勧告に着目し防災拠点にも拡充したリアリティのある水防訓練を実施
■防災教育や防災知識の普及														
	・想定最大規模降雨による堤防決壊時、越水時の流水の破壊力に関するイメージ 動画の作成・公開	A, B	H28年度から 検討実施											・想定最大規模降雨による堤防決壊時、越水時の流水の破壊力に関するイメージ 動画の作成・公開
	・「川の防災情報」や地上デジタル放送の活用促進のための周知	C, E, G	H28年度から 順次実施											・「川の防災情報」の活用促進のための周知 (H28年度から定期的に実施)
	・出前講座等を活用した防災教育の実施	B, E, H	H28年度から 順次実施											・出前講座等を活用した防災教育の実施(H28年度から順次実施)
	・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警戒級の現象」等の改善	B, E	H29年度から 順次実施											・警報等における危険度の色分け表示 「警報制になる可能性」の情報提供 ・メッシュ情報の充実化 (H29年度から順次実施)
	・スマートフォン等へのブッシュ型の洪水情報発信	B, C, E, G	H28年度から 検討実施											・スマートフォン等へのブッシュ型の洪水情報発信

◎各項目の取組内容(小瀬川水系大規模氾濫時の減災対策協議会)

具体的な取組の柱			実施する機関												
事 項	具体的取組	目標時期	市町村			県			気象庁		国土交通省 中国地方整備局				
			大竹市	岩国市	和木町	広島県	山口県 河川課	山口県 防災危機管理課	広島地方気象台	下関地方気象台	太田川 河川事務所	広島国道 事務所	山口河川 国道事務所	弥栄ダム	
②地域別の氾濫特性に応じた効果的な水防活動															
■避難行動・水防活動に資する基盤等の整備															
	・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する <b>危機管理型水位計</b> の整備(再掲)	C, G, H	H30年度											・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する <b>危機管理型水位計</b> の整備(H30年度)	
	・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する <b>河川監視用カメラ</b> 等の整備(再掲)	C, G, H	順次実施											・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する <b>河川監視用カメラ</b> 等の整備(順次実施)	
	・河川のリアルタイム映像の提供設備の検討(再掲)	C, G, H	H30年度											・河川映像の提供設備検討(H30年度)	
	・防災拠点の中心となる庁舎等の代替施設となり得る民間施設等との提携・連携	J	H32年度	・防災拠点(町役場)の代替地となる民間施設等との連携(H32年度)										・防災拠点(出渡所)の代替地となる民間施設等との連携(H32年度)	
■水防活動の効率化及び水防体制の強化															
	・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	E, G, H	H28年度から	・水防団等への連絡名簿、連絡体制の再確認とタイムラインも考慮した伝達訓練の実施(H28年度から定期的に実施)											
	・小瀬川本川の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について水防団や地域住民が参加する合同点検を実施	G, H	H28年度から	・小瀬川本川の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について、水防団や地域住民が参加する合同点検を実施(H28年度から定期的に実施)											・小瀬川本川の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について、関係自治体に情報提供を実施(H28年度から定期的に実施)
	・リアリティのある水防訓練の実施(再掲)	B, C, F, G, H, I, J	H28年度から	・避難勧告に着目し防災拠点にも拡充したリアリティのある水防訓練を実施											
	・備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認	I	H28年度から	・備蓄水防資機材の数量、保管場所等の情報を共有し、非常時における相互支援方法を確認											・備蓄水防資機材の数量、保管場所等の情報を共有し、非常時における相互支援方法を確認
③浸水を一日も早く解消するための排水活動の取組															
■排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施															
	・排水施設の情報共有、排水手法の検討を踏まえた排水計画(案)の作成	K	H29年度から	・排水施設の情報共有、排水手法の検討を踏まえた排水計画(案)の作成											・排水施設の情報共有、排水手法の検討を踏まえた排水計画(案)の作成
	・排水計画に基づく排水訓練の実施	K	H30年度から	・排水計画に基づく排水訓練の実施											・排水計画に基づく排水訓練の実施
④弥栄ダムの効果的・効率的な運用															
■弥栄ダムの効果的・効率的な運用															
	・下流河川の被害を軽減するため、流入量予測の精度向上等による更なる効果的な運用を実施	M	H28年度より特別防犯操作(遠隔操作)を続行中											・下流の被害を軽減するため、下流河川状況の把握、洪水予測結果の情報を提供	